



議員は市民の代理人。
生活者ネットワーク
は議員を代理人と呼
び活動しています。

映画「コスタリカの奇跡」を観て

山崎とも子

コスタリカは1948年以降現在に至るまで70年
近く軍隊を持たない国です。

隣国アメリカから軍事的圧力を何度かけられ
てもその都度外交を通じ粘り強い対話交渉で乗
り切っています。軍事予算を教育や福祉に振り
分け、その結果「地球幸福度」は世界一で、人々
には平和主義が根付いています。イラク戦争の
時はアメリカ主導で有志連合に加わりましたが、
草の根レベルでそれを撤廃させています。コス
タリカの大統領が語った「軍隊を持たないこと
が最大の防衛」。日本にも憲法9条が
あります。まずは憲法を知り他人任せ
にせず平和主義を自分たちのこととし
て捉えることが大切だと感じました。

小平での上映会には
大勢の人が来場した



原発事故から7年

～子どもの健康被害について～ さとう悦子

牛山元美医師の講演会に行ってきました。
福島の子どもの甲状腺検査での悪性判定は、
被爆していない地域の5～30倍に上っているの
にもかかわらず、県は放射能のせいではないと
説明しています。医学的な根拠や科学的な判断
に照らし合わせても、データの収集方法や処理
の仕方について問題があるとのことでした。

福島にはまだ線量の高いところがあり子ども
たちは安心して自由に外遊びができず、小平で
も保養の活動が毎年行われています。私もボラン
ティアとして参加しています。今年は事故のあ
った2011年生まれの子どもの参加がありました。
原発をなくすこと、自由
な外遊びを保障
することは大人の
義務だと感じて
います。

小平での福島の子
どもの保養の様子



介護保険、大丈夫にするのは私たちの関わり次第

平野ひろみ

2000年に「介護の社会化」と謳った介護保険
制度の改正は今回で5回目。

国は全国データや指標から地域分析し、都道
府県は研修で市町村を応援する、自治体の改善
結果の実績を公表して交付金が支給されること
になります。介護給付費のさらなる削減に向け
て自治体間で競争？本当に住民の安心できる介
護保険の視点にたてるのか、介護者やケアマネ、
事業者をおいつめることにならないのか。服部
万里子さんの学習会を聞き、より長く地域で暮
らせば給付は下がる、だから利用者の声を代弁
し、ケアの専門性を自治体独自で高め、必要な

支援を在宅で受け
られるようなく
みをつくること
が重要と再確認
しました。

学習会にはまさに介護の
真つ最中の人も多く参加



こころの病を治すためにより良い環境を

日向みさ子

6月9日、NPO法人粲々社(さんさんもり)
主催の学習会「こころの病を持つ人の地域生活
をささえていくために」に参加しました。市の
保健師、地域生活支援センター長のお話は、小
平でどのように精神疾患を抱える人をサポート
しているかがわかり有意義でした。

つづいての白石弘巳医師のお話は、社会がめ
ざすべき方向をはっきりと示すものでした。そ
れは、心の病を抱える人にとっていかに環境が
大切か、ということです。周りの対応が適切だ
と薬がなくても再発率が下がり、逆に対応が悪
いと薬を飲んでも再発率が上がる。さらには、
本人の経過を分析すると、薬だけでなく休むこ
とで悪くならず生活している面が大きい、と
いうことでした。

ストレス社会と言われる
日本、働き方や学校での集
団生活、家族のあり方など
見直す時期に来ているのか
もしれません。

